



伝道・宣教委員会

ACC への報告 (2023 年 2 月)

1. 概要とその背景

1.1 この新しい委員会は、2022 年 1 月に設立され、正式に機能し始めた。これは、アングリカン・コミュニオン・チャーチ・プランティング・ネットワーク (ACCPN、2020 年 9 月に設立され、プラント・アングリカンの名で知られており、ウェブサイトは www.PlantAnglican.org/home) と、意図的弟子育成期間：イエスが形作った命 (SIDD : JSL) 調整グループ (2016 年の ACC16 の後に発足) という 2 つのグループの組み合わせである。

1.2 この委員会の目的は、ストーリー、リソース、協議、ファシリテーターの訓練を共有することによって、アングリカン・コミュニオンにおけるチャーチプランティングのベストプラクティスによる文化の変化と、全生涯を通じた弟子と弟子育成の動きを促すことであり、これによりチャーチプランティングと意図的弟子育成のための戦略を強化して、教会の使命を推進することである。

2. 昨年の活動

2.12 つの運営グループが 2~3 か月ごとにミーティングを行い、ビジョンを策定し、進捗状況を確認した。メンバーは、アルゼンチン、オーストラリア、ブラジル、チリ、コンゴ、イングランド、ガーナ、ケニア、マレーシア、モザンビーク、ニュージーランド、フィリピン、南アフリカ、南スーダン、タンザニア、アメリカ合衆国、ウェールズ、ザンビアである。

- 2.2このウェブサイトには、毎月新しいストーリー、リソース、トレーニング資料が追加されている。これらはスペイン語、ポルトガル語、フランス語、中国語、日本語、韓国語および英語に翻訳されている。
- 2.3ウェビナーが、マレーシア、チリ、南アメリカ、中央アメリカ、南アフリカ、東アフリカ、中央アフリカ、東アジア、およびイングランドで、プラント・アングリカンとJSLを通じて、チャーチ・プランターと意図的弟子を訓練するために実施された。
- 2.4メンバー登録者へのニュースレターの送付やソーシャルメディア・チャンネルへの掲載を行い、Lambeth Conference 2022でも配布した。
- 2.5 私たちの祈りコーディネーターであるマーティン・ブレイテンバッハ主教と彼のチームは、コミュニオン全体で定期的に祈りのグループを集めてオンラインとFacebookで祈っている。
- 2.6 意図的弟子育成グループは、Grove Booksと協力して、弟子育成に関する一連の本を作成している。2021年と2022年に8冊の本が作成された。
- 2.72つのグループは共に、弟子育成と伝道のための単一の「委員会」の下、イギリスのロンドンで開催されたLambeth Conference 2022の直前の開会静修で初めて会合した。
- 2.8トリニティ・ウォール・ストリートから、3年間のチャーチプランティングネットワークを支援するために100,000ドルの資金を受けた。これは主にストーリーとリソースの編集作業のために使われ、その期間内においてネットワークの財務面の持続可能性を確保できるようにするものである。

3. 次年度の活動

- 3.1私たちは引き続きニュースレターとWebサイトのためのストーリー、リソース、トレーニング資料を提供していく。私たちは引き続き協議、ウェビナー、ファシリテータートレーニングを行い、管区に弟子育成トレーニングアニメーターを育成していく。私たちはソーシャルメディア・チャンネルを開発し、コンテンツの充実を図る。
- 3.2 私たちは引き続きニュースレターやオンライン、フェイスブックを通じて祈りのネットワークを拡大していく。

3.3 私たちは地元の教会から新たな長期的資金を調達する。

3.4 すべてのウェブサイトとソーシャルメディアチャンネルを ACO で合理化する。

3.5 私たちは引き続き教会の間で、チャーチプランティングによる文化の変化を促し、
10年間で新たに100万のチャーチプラントを目指す。私たちは引き続き、すべての管区、主教区および教区で**弟子育成の動き**を促していく。

伝道・宣教委員会運営委員会

(プラント・アングリカンおよび JSL グループ)

2022年12月30日